

みずほCustomer Desk Report 2025/06/11 号(As of 2025/06/10)

国際為替部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

				公示仲値	144.70
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	144.58	1.1424	165.19	1.3553	0.6517
SYD-NY High	145.29	1.1447	165.63	1.3563	0.6533
SYD-NY Low	144.40	1.1373	164.68	1.3458	0.6490
NY 5:00 PM	144.91	1.1426	165.50	1.3498	0.6521
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	42,866.87	105.11	日本2年債	0.7600%	▲0.0100%
NASDAQ	19,714.99	123.75	日本10年債	1.4800%	0.0100%
S&P	6,038.81	32.93	米国2年債	4.0223%	0.0199%
日経平均	38,211.51	122.94	米国5年債	4.0883%	0.0079%
TOPIX	2,786.24	0.83	米国10年債	4.4728%	▲0.0020%
シカゴ日経先物	38,370.00	140.00	独10年債	2.5310%	▲0.0385%
ロンドンFT	8,853.08	20.80	英10年債	4.5400%	▲0.0895%
DAX	23,987.56	▲ 186.76	豪10年債	4.2650%	▲0.0040%
ハンセン指数	24,162.87	▲ 18.56	USDJPY 1M Vol	10.43%	▲0.05%
上海総合	3,384.82	▲ 14.96	USDJPY 3M Vol	10.42%	▲0.07%
NY金	3,343.40	▲ 11.50	USDJPY 6M Vol	10.39%	0.00%
WTI	64.98	▲ 0.31	USDJPY 1M 25RR	▲1.32%	Yen Call Over
CRB指数	299.34	▲ 2.17	EURJPY 3M Vol	8.23%	▲0.04%
ドルインデックス	99.10	0.16	EURJPY 6M Vol	8.97%	0.13%

東京	東京時間のドル円は144.58レベルでオープン。植田日銀総裁が「基調的な物価上昇率は物価目標の2%まで少し距離がある」と発言した事を受けて、円売りが進み一時145.29まで上昇。円売り一巡後は米中貿易交渉の難航を警戒したリスクオフの動きなどで144円台半ばまで下落する展開となり、結局144.53レベルで海外時間へと渡った。
ロンドン	ドル円は144.53レベルでオープン。市場は引き続き米中貿易協議の結果を待つ様子見姿勢であり、ドル円は144.43から144.82の間で方向感なく推移した後、144.58レベルでNY市場に渡った。また、今朝発表された英国の労働市場データは、PAYE雇用者数が10.9万人減少、賃金も弱含んでおり、非常にハ派的な内容となった。これを受けて、ポンドは対円で一時80銭以上下落した。
ニューヨーク	植田総裁の発言から日銀の利上げ期待が後退し、海外市場で145.29まで戻したドル円は、その後反落し144.58レベルでNYオープン。米経済指標発表予定がなく、明日のCPI結果待ちとなるが、その調整からか米金利が上昇する展開にドル買いが優勢となり、145.03まで上昇した。その後の米3年債入札は無難な結果となったことからドル円への影響は限定的となり、144.91レベルでクロスした。一方、ユーロドルは1.1423レベルでオープン。朝方は1.1447まで戻すが、その後はドル買戻しから1.1416まで反落。午後は方向感なく推移し、1.11426レベルでクロスした。

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
6月10日	09:30	豪 ウェストハック消費者信頼感指数	6月 92.6	-
	10:30	豪 NAB企業信頼感/景況感	5月 36557	-
	10:33	日 植田日銀総裁答弁	「基調物価はまだ2%に少し距離がある」	
	15:00	英 週平均賃金(除賞与/3ヵ月/前年比)	4月 5.2%	5.3%

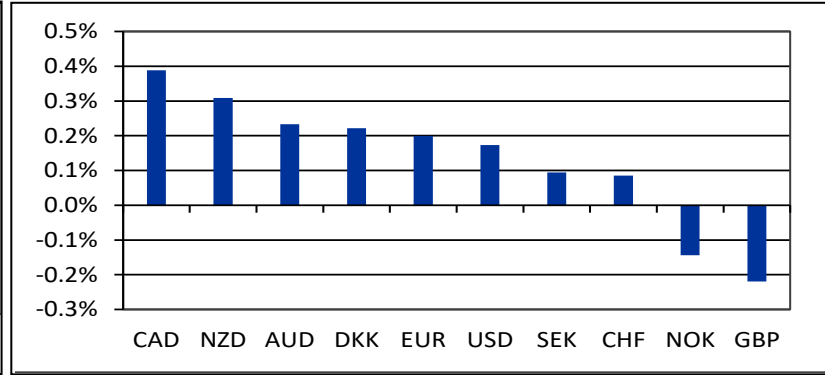
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
6月11日	21:30	米 CPI(前月比/前年比)	5月 0.2%/2.4%	0.2%/2.3%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	144.50-146.00	1.1300-1.1500	164.70-166.70

【マーケット・インプレッション】

本日のドル円は水準を切り上げる展開を予想する。引き続き米中通商協議の行方が注目される中、市場ではやや楽観的な見方が広がっており、ドル円も足許で145円台を回復している。仮に本日中にも交渉の詳細が明らかとなり、今回の焦点である両国の輸出規制に関する明確な合意が示された場合、ドル円は一段と上昇する展開が想定されよう。また米国時間には米5月CPIが公表予定。関税の影響が徐々に顕在化されるとの見方から、インフレの加速はある程度織り込まれているものの、予想を大きく上回る場合は、FRBのスタンスにも相応の影響がでてくることから、ドル円の上昇圧力となるため警戒したい。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。